

経営協議会の学外委員からの意見を法人運営に反映した主な事例（平成22年度）

経営協議会の学外委員からの意見	具体的な内容
<p>ヨーロッパからの留学生の受入れ等について</p> <p>EUの教育部門も留学対策に積極的であり、ヨーロッパからの留学生の受入れやヨーロッパへ留学生を送ることも長期的に取り組んではいかがか。</p>	<p>本学の欧州における海外拠点として、セイナヨキ応用科学大学（フィンランド）に国際交流センター（IEC）オフィスを平成22年9月に設置したが、計画中であった相互に学生の交流を進める共同事業に学外委員からの意見を活用した上で計画を進めた。</p> <p>その結果、平成23年4月からセイナヨキ応用科学大学と「海外共同学習プログラム」を実施している。</p> <p>平成23年度は、普遍教育の教養展開科目（国際性を高める）「グローバル・スタディ・プログラム」として、フィンランドの学生と未来の在宅ケアシステムについて学習する授業を新たに開講し、本学から10名の学生が2週間のワークショップをセイナヨキ応用科学大学で行い、来年度は本学がセイナヨキ応用科学大学より学生を受け入れる予定。</p> <p>今後、長期的視野に立って、交流を深化させていくこととしている。</p>